

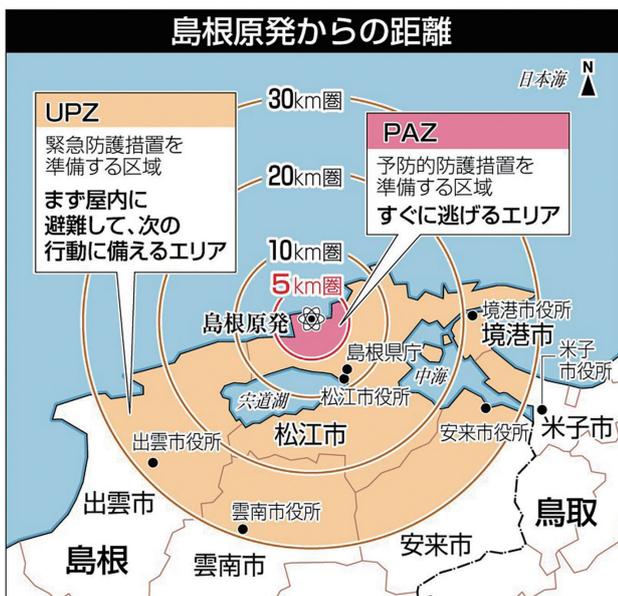
# 島根原発2号機の再稼働をめぐる 取り組みと自治体労働組合の役割

塩冶隆彦（島根県自治体労働組合総連合執行委員長）

1月1日に発生した能登半島地震の状況を踏まえ、島根県自治体労働組合総連合（しまね自治労連）は、2月9日に県に対して申し入れを行いました。現地調査を行い、島根原発の安全性と避難計画の実効性を再評価すること、そのために再稼働の延期を中国電力に求めること等が申し入れの内容です。原発反対のためというよりも、「県は、『県民の不安と疑念』に応えるべき」との立場から行ったということがポイントです。その後の取り組みを含め報告します。

## 1. はじめに

中国電力島根原子力発電所は、全国で唯一、県庁所在地（松江市）にあり、しかも、島根県庁が原発から10km圏内にあるという希有な立地状況です。原子炉は3機あり、1号機は廃炉作業中、2号機（出力82万kw）は原子力規制委員会の



山陰中央新報デジタル（2023.6.2）より

新規制基準適合審査や地元自治体の同意を経て再稼働に向けた準備が進んでいます。3号機（出力138万kw）はほぼ工事が終了し、新規制基準適合審査が進んでいるところです。

原発から30km圏内には、島根・鳥取両県にまたがって6市があり、圏内人口は全国で3番目に多い約46万人、要支援者は全国で最も多い5万2千人となっています（山陰中央新報デジタル。2021.9.17）。

## 2. 島根原発2号機再稼働への反対運動と知事の同意

島根原発は、1号機が2010年3月（点検漏れ発覚で停止、11月から定期点検へ移行）、2号機が2012年1月（定期点検）に運転を停止。2011年3月の福島第一原発事故を受けて設けられた新規制基準への適合審査に合格し、地元自治体の同意がなければ再稼働できない状況となりました。2015年3月には、安全対策のコスト面を考慮して1号機の廃止を中国電力が決定したことから、その後は2号機の再稼働が焦点となりました。

### (1) 「みどりのエネルギー条例」制定の直接請求

福島第一原発事故の甚大な被害を考えれば、島根県は「脱原発・再生可能エネルギーの普及・拡大」へと舵を切るべきとの県民世論を具体化するため、「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」（当時の自治労連島根県事務所も協力組織として参加）は、2014年2月に「みどりのエネルギー条例」（島根県エネルギー自立地域推進基本条例）制定の直接請求を行いました。請求署名数は9万を超え、有権者の16%にのぼりましたが、県議会は

翌3月に請求を否決しました。

## (2) 再稼働の是非を問う住民投票条例制定の直接請求

2021年9月、島根原発2号機が再稼働に向けた原子力規制委員会の安全審査に合格し、地元自治体（島根県及び松江市）の同意が焦点となりました。県の同意に当たっては、原発30km圏内の周辺自治体の意見も踏まえるとの方針を丸山島根県知事が表明していたことから、自治体の意見に住民の意思を反映させるため、再稼働の是非を問う住民投票条例制定の直接請求が取り組まれました。2022年1月から3月にかけて、該当する6市のうち、松江、出雲、米子、境港の4市で請求が行われましたが、いずれも議会で否決されました。

## (3) 知事の再稼働同意

2022年6月、丸山知事は、6月県議会の場で再稼働に同意する旨を表明しました。発言の中で知事は、再稼働や避難対策への県民の不安や疑問があることを認め、「不安や心配のない生活を実現するためには、原発はない方がよく、なくしていくべきだと私も考えています」としつつも、電力を安定供給し、かつ住民生活や地域産業に大きな金銭的負担を生じさせないこと、再稼働しなかった場合の地域経済への影響を考慮し、「『島根原発2号機の再稼働は、現状においては、やむを得ない』と考え、再稼働を容認する判断をいたしました。したがって、県民の皆さまにご不安やご心配が残るものであり、苦渋の判断」と述べました。そして、県民の不安や心配の原因となっている課題の解決に向けて最大限取り組むことを約束しました。

その後、中国電力は、2024年8月に2号機を再稼働させると表明しました（2023年9月）。

## 3. 能登半島地震の発生と再稼働延期を求める取り組み

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、海岸が隆起し、道路が寸断されました。北陸電力志賀原発では、変圧器の油漏れにより外部電源の一部が使用できなくなりました。たくさんの家屋



県防災部（手前）との交渉

が倒壊し、孤立状態の集落も数多く発生しました。島根半島で同様な地震が起こり、島根原発で放射能漏れの事故が発生しても避難などできないという現実が突きつけられたのです。

## (1) しまね自治労連としての要求書の提出

能登半島地震の発生により、島根原発2号機の再稼働への不安、避難計画への疑念が一気に高まりました。しかしながら、県民の不安と疑念に応えようとする姿勢は、中国電力にも島根県にも全く見られませんでした。特に、県は避難計画の策定と実効性の確保に重大な責任があり、この点でも、能登半島地震からの教訓を自ら引き出すことが求められると考えました。要求書にも記載しましたが、「県民の福祉向上を図ることを責務とする自治体職員として、この（県民の）疑念を解決しないまま原発を動かすことはあってはならないと考え」、労働組合の要求書として提出しました。防災部との交渉でも、県民の命とくらしを守る責任を果たすこと、県職員の責務として知事に進言することを強く求めました。

2024年2月9日

島根県知事 丸山 達也 様

島根県自治体労働組合総連合  
(しまね自治労連)  
執行委員長 塩冶 隆彦

### 中国電力島根原子力発電所2号機の 再稼働に関する要求書

日頃より地方自治の発展にご尽力されていることに敬意を表します。

また、元旦に発生した能登半島地震の支援のため、県組織をあげて対応されていることにも敬意を表します。私たち自治労連も被災地の支援に力を入れて参ります。

さて、能登半島地震の被災状況や北陸電力志賀原子力発電所のトラブルが県民に大きな不安をもたらしています。知事の同意を受け、今年8月にも島根原発2号機が再稼働しようとしています。今回の地震により、「原発の安全性」「避難計画の実効性」等に大きな疑念が生まれているからです。

私たちは、県民の福祉向上を図ることを責務とする自治体職員として、この疑念を解消しないまま原発を動かすことはあってはならないと考えています。また、原発事故の際に住民避難への対応を行う自治体職員には、放射線被ばくによる大きな健康被害が発生するリスクがあり、労働組合としては、この点からも疑念を放置するわけにはいきません。

以上の点から、私たちは知事に対して下記のとおり要求します。

#### 記

1. 専門家を含む島根県独自の調査チームを組織し、「令和6年能登半島地震」の地震発生状況及び被災状況、志賀原発のトラブルの発生状況とその要因等について徹底的な調査（現地調査を含む）を行うこと。
2. 調査結果や各界の専門家の見解、原子力規制委員会の原子力災害対策指針の見直し結果等により、「原発の安全性」及び「避難計画の実効性」等について、ゼロベースで再評価すること。再評価にあたっては、避難要支援者や社会福祉施設・医療機関を始めとする県民の納得が得られるように対応すること。
3. 県独自の調査と「原発の安全性」等の再評価が完了し、県民の不安が解消されるま

では、島根原発2号機再稼働への同意を「凍結」することとし、中国電力へ再稼働の延期を求めること。再評価の結果、原発の再稼働が適切でないと判断された場合には、同意を「撤回」し、2号機の廃炉を求めること。



島根原発2号機再稼働を止める集会デモ行進

## (2) 島根原発2号機の再稼働延期の請願をすすめる会の取り組み

福島第一原発事故後、運動団体が実行委員会を結成し、毎年3月に原発反対の集会を開催してきました。2024年についても3月3日に「再稼働を止める集会」を予定していましたが、知事が再稼働に同意してしまったことで今一つ準備に熱が入らない状況でした。

その中で能登半島地震が発生しました。集会を恒例行事として終わらせてはならない、「再稼働を止める」スタートにしなければとの思いで、集会が準備されました。当日は多くの参加者があり、集会もデモ行進も熱気に包まれました。そして、ここをスタートとして何ができるかと実行委員会の有志で考えました。その結果が、「再稼働延期の請願署名」です。

請願署名に取り組むことや請願項目の内容を決める上では、しまね自治労連の要求書提出の取り組みが大いに参考になったと思います。中国電力との安全協定に基づいて行われた県知事の「同意」を覆すことはなかなか困難です。8月の再稼働という時間のない中で、どのような要求にするのか、



「請願をすすめる会」 記者会見

要求するための理由付けをどうするかに知恵を絞りました。県が「県民の不安と疑念に応え、命と暮らしを守る責任」を果たすためには、調査等を行って原発の安全性と避難計画の実効性を再評価する必要があると時間がかかる、だから「再稼働はいったん延期」という論立てとしました。原発への賛否にかかわらず、このまま再稼働しても大丈夫なのかと感じている県民の声を、再稼働の延期、「再稼働、ちょっと待った!」として集めようということになったのです。

「請願をすすめる会」は3月18日に発足し、27日に記者会見を行いました。会見には多くの報道機関が集まり、活発な質疑も行われました。「原発反対」ではなく「再稼働延期」を要求する今までにない請願署名活動であることや、衆議院島根1区の補欠選挙が控えており島根原発2号機の再稼働が選挙の争点の一つになるとマスコミが考えていたからではないかと思えます。

準備に思いのほか時間がかかり、署名活動のスタートは4月にずれ込みました。6月県議会への請願も予定していたことから、極めて短時間での取り組みにならざるを得なくなりました（知事に対しては8月再稼働まで若干の時間があるにしても）。活動によろやくエンジンがかかってきたと思われた4月30日、衆議院補欠選挙の投票日が過ぎるのを待っていたかのように、中国電力が再稼働を12月に延期するというニュースが飛び込んできました。「安全対策工事の遅れ」がその理由でした。

8月の再稼働がなくなった結果、「8月に予定されている島根原発2号機再稼働の延期を申し入れること」という請願内容が状況に合わなくなりました。会では、6月にも知事宛での署名を提出

し、署名の一番の眼目である「能登半島地震の状況を踏まえ、原発の安全性と避難計画の実効性を再評価し、県民の命と暮らしを守る責任を果たせ」と要求する予定です。また、再稼働が12月に延期となった「おかげ」で、運動を進める期間が十分確保できる状況になりました。今後の活動方針をしっかりと議論し、「県民の安全が確保されない限り再稼働はさせない」という県民世論を作り上げていくための運動を進めたいと考えます。

### (3) 島根原発2号機運転差止仮処分申し立ての高裁決定

5月15日、島根原発2号機の運転差止を求めた仮処分の申し立てについて、広島高裁松江支部の決定が示されました。申し立ては却下されました。詳しいことは別途確認いただきたいと思います。決定期理由で、避難計画の実効性について述べた部分が、大きな問題であると感じます。決定要旨では、避難計画に実効性がないことによる「人格権侵害の危険は（中略）事故が発生する具体的危険性があることがその前提」であり、その「具体的危険性について疎明があったということにはできない」としました。万が一の事故に備えるための避難計画であるにもかかわらず、「具体的危険性」を住民が証明しなければ、その実効性の有無を問題にしない。裁判所自らが原発の安全性判断について思考停止におちいる一方で、住民に責任を転嫁する暴論だと思えます。結果として、司法は避難計画の実効性について何も判断しておらず、いよいよ避難を担う（担わされている）行政としての責任は重大だと言わなければなりません。

### 4. 原発をめぐる地方自治・地域主権と自治体労働組合の役割

原発の問題を考える際には、その安全性や「核のゴミ」の問題などが中心となると思いますが、原発が立地している自治体の住民にとっては、「国策」とどう向き合い、地域の問題としてどう判断するのかという問題が付加されるのだと改めて感じています。

10年前の「エネルギー条例制定の直接請求」は、

エネルギー問題を中心とした地域づくりの提案でもありましたし、2年前の「住民投票条例制定の直接請求」は、まさに主権者である住民の意思表示の機会を求めるものでした。今回の「再稼働延期の請願」も、住民が自治体の役割と責任を問うものです。「国策だから」ではなく、地域を主体に考えた場合にどうなのかが問題です。

地域住民が地域課題を考える際の情報提供、住民の意思を表明し、その意思を行政に反映させるための手法の検討などの面では、自治体労働組合

から提供できることも多いと思います。実際に行政に携わっているからこそその知恵も出せることでしょう。住民団体にとって、一緒に運動を進めるパートナーとして頼りになり得る組織だと思います。原発問題でも、「対自治体」という面での役割は大きいのではないかと感じます。その役割を、私たち、しまね自治労連も果たしていきたいと考えています。

(えんな たかひこ)

-----

〈参考資料〉

山陰中央新報デジタル (2021年9月17日)

<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/95527>

山陰中央新報デジタル (2023年6月2日)

<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/393828>

島根県ホームページ (島根原子力発電所2号機再稼働判断に係る知事コメント)

[https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai\\_info/bousai/bousai/genshiryoku/doukou.data/open\\_chijihandancome.pdf](https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/genshiryoku/doukou.data/open_chijihandancome.pdf)